

薬学的栄養ケアサポートにより、低栄養リスク原因を医師と協働で探求し、改善に努める



事業の概要

65歳以上の健常者～要支援・要介護者の介護予防/自立支援/重度化防止を目的に調剤薬局が栄養ケア支援システムを用いた薬学的栄養ケアサポートを実践し、低栄養・フレイルの原因(服用薬の多剤併用、食欲不振を惹起させる薬剤、精神的要因、潜在性疾患、口腔機能障害など)を医師と協働で探求し改善対策を講じます。

- 薬学的栄養ケアサポートによる「自立支援型ケアプラン」の提案。
- 低栄養チェックによるプレアボイド(副作用の事前回避)の実践。
- フレイル・ロコモティブシンドローム対策。食育活動の実施。

事業者プロフィール

一般社団法人在宅栄養ケア推進基金
代表理事： 溝淵敏水(医療法人聖真会
 渭南病院 院長)
所在地： 高知県高知市
創業年： 2013年
主な事業： 栄養ケア支援事業
提供エリア： 全国

主な提供実績

- 厚生労働省「高齢者の低栄養防止・重症化予防等推進事業」参画
 ※介護予防と保健事業の一体化事業
- 農水省/厚労省「医福食農連携推進環境整備事業」参画
 ※医療者と農業者の連携による農業イノベーションの創出
- 内閣府/内閣官房「生涯活躍のまち推進事業」参画
 ※調剤薬局が地域住民と移住者の継続的ケア拠点となる地方創生事業
- 国土交通省「公民連携地域創生事業」参画
 ※公営住宅再整備事業の下、「未病・交流センター」構想を提案

事業
モデル

- 本サービスは、栄養ケアサポート薬局(栄養ケア支援システムを用いた薬学的栄養ケアサポートを実践する薬局)が処方箋を応需する65歳以上の高齢者を対象に提供されます。
※処方箋の応需により、無償で薬学的栄養ケアサポートが受けられます。
- ケアマネジャーが自立支援・重度化防止を目的にケアプランを策定する際、無償(※)の保険外サービスとして組入れることが可能です。
- 低栄養防止・骨粗鬆症の改善・認知症予防・ロコモティブシンドローム予防の効果が高まり、自立支援・重度化防止が促されます。

ポイント

- ✓ 調剤薬局(栄養ケアサポート薬局)が処方箋応需により薬学的管理指導料の範疇で低栄養予防を行いますので、利用者は当該費用負担が生じません。
- ✓ 厚生労働省「医療費適正化推進事業」及び「健康寿命延伸政策」に準拠したサービスであることから、自治体・医療・福祉の多職種連携が円滑に進みます。
- ✓ 低栄養予防により、医療と農業関係者の異業種連携が進展し、互助・共助の体制整備が推進されます。

